

# 袖ヶ浦市 幼保連携の推進について

## 1 幼保連携推進の背景

### 1. 幼保連携推進の背景

国において、平成24年8月に「子ども・子育て支援法」などの「子ども・子育て関連3法」が成立し、「子ども・子育て支援新制度」の枠組みが示され、平成27年4月より施行されています。

この法改正により幼児期の学校教育・保育の一体的な提供を促進するため認定こども園制度の改正が図られ、地域の子ども・子育て支援を総合的に推進することになりました。

核家族化や共働き家庭の増加、新制度により保育の就労下限時間が引き下げられたことなどから、今後ますます待機児童数が増加することが見込まれるとともに、保護者からは子育てと仕事の両立支援のための子育て支援策や保育ニーズの多様化への対応が求められています。

一方では、幼稚園在籍児童の減少に伴い幼稚園定員に空きがでるなど、保護者のニーズとの差が顕在化してきています。

ニーズ調査の結果では、就労意向をもつ母親が増加しており、教育・保育サービスの多様なニーズがあり、幼稚園の保護者は一時預かりや3歳児保育など保育時間の拡大を希望し、保育所の保護者は幼児教育を希望する意見があります。

保護者のニーズに即した教育・保育の提供を実現し、それに合わせた保育の量的拡充により待機児童の解消を図る必要があります。

### 2. 幼稚園教育要領・保育所保育指針について

本市では、これまで、幼稚園教育要領、保育所保育指針に基づく幼児教育、保育を行っております。

国は、幼児教育では、近年の子どもたちの育ちの変化や社会の変化に対応し、発達や学びの連続性及び園での生活と家庭などでの生活の連続性の確保に努めることにより、幼児の健やかな成長を促すことが重要とされてきていることから、また、保育においては、少子化が進み家庭や地域の子育て力の低下が指摘される中で、質の高い養護と教育の機能が強く求められてきていることなどから、子どもの育ちや保護者をめぐる環境の変化に対応して幼稚園教育要領、保育所保育指針の改定を行ってきています。

このような中、幼稚園教育要領及び保育所保育指針との整合性を図りながら、0歳から小学校就学前までの一貫した教育及び保育を行っていくことなどを盛り込んだ幼保連携型認定こども園の教育・保育要領が策定されています。

本市においても、これらの要領、指針に基づいて教育、保育を行っていくこと、または教育と保育を一体的に行っていくことが求められています。

### 3. 袖ヶ浦市のこれまでの取組

本市では、乳幼児期が子どもが健やかに育つための大切な時期であることから、就学前の子どもたちが健やかに育つ環境として幼稚園・保育所がどうあるべきか、また、現在の子育て環境が生み出している育児不安をどのように支え負担を軽減していくかという視点から、市立幼稚園・保育所の在り方について検討を進めてまいりました。

その中で、平成26年度に袖ヶ浦市子育て応援プランを策定し、人口の増減など地域の実情を勘案しつつ、多様な市民ニーズに対応した幼稚園・保育所の利便性の向上を図るため、認定こども園化を推進し、教育・保育サービスの提供体制が整うよう努めることとしています。

#### 袖ヶ浦市子育て応援プラン（抜粋）

##### 4 重点事業（2）認定こども園化の推進

市内の教育・保育サービスについては、これまで保育所（園）については定員を上回る利用が多くみられる一方、幼稚園については、全体的に定員にゆとりが見られます。今後は人口の増減など地域の実情を勘案しつつ、多様な市民ニーズに対応し利便性の向上を図るため、認定こども園化を推進し、教育・保育サービスの提供体制が整うよう努めます。

## 2 幼稚園と保育所における現状と課題

### 1. 幼稚園の現状と課題

市内の幼稚園は4施設（市立2、私立2）ありますが、入所率については過去3年のいずれも7割台にとどまるなど、全ての幼稚園で施設定員を下回っています。

特に市立幼稚園では、入所率は年々低下しており、6割台にとどまっています。これは、幼稚園を利用している保護者から希望のある一時預かりや3年保育を行っていないことなども一因と考えられます。

今井幼稚園は、耐震診断の結果、耐震工事が必要とされておりますが、袖ヶ浦駅海側特定土地区画整理事業による人口増加が予想され、保育を中心とした新規施設の整備を見込んでいることから、施設整備や幼保の連携を含めた検討が必要です。

中川幼稚園の入所率は38%で、人口減少の進む平川地区であることから、今後はクラス人数が20名を割ることや、単学年1学級となる可能性もあり、集団教育が主となる幼稚園の本来のあり方として課題が多く、教育・保育の質の確保から対策が必要です。

## 2. 保育所の現状と課題

市内の保育所は、9施設（市立5、私立4）ありますが、過去の実績を見ると、一部を除いて利用定員を上回る状態が続いており、今後もこの状態が続くと思われま

す。これまで、私立保育園の新規開設や市立保育所の定員増などを行ってきましたが、入所希望者及び入所待ち児童数は継続的に発生し、定員を超えて児童を受け入れている施設が4施設あります。また、吉野田保育所は建築後40年を迎え施設の老朽化が進んでおり、耐震診断を行う必要があります。

昭和地区においては、人口増加が予想されるため、保育を中心とした新規施設の整備を見込みますが、保育所を利用している保護者からは幼児教育を希望する意見もあることから、幼児教育と一体的に提供される認定こども園についても検討し、子育て環境の向上を図る必要があります。地区的にも、特に0歳～2歳児については入所待ち児童が更に増加しており、乳幼児の保育需要に対する受け入れ枠の拡大は急務となっています。

また、平川地区においては、幼稚園を含め入所者が地区全体で施設定員を下回っており、今後も人口減少が見込まれることから、教育・保育の質の確保を図るため、幼保連携による施設の再編・統合を検討する必要があります。

## 3. 関係計画での位置づけ

### 袖ヶ浦市公共施設（建築物）の再編整備計画（抜粋）

#### ①「短期」に位置づけた施設（概ね5年以内に実施するもの）

##### 【平川保育所・吉野田保育所】

○バス送迎を実施していますが、数年来受け入れ可能人数がある状況です。また、同地域内に市立幼稚園が存在していますが、近年園児数の減少が続いており、子ども・子育て支援事業計画を踏まえて幼保の連携について検討します。

##### 【中川幼稚園】

○市立2幼稚園のうち内陸部に位置しバス送迎を実施していますが、近年園児数の減少が続いています。また、同地域内に市立保育所が存在していますが、数年来受け入れ可能人数がある状況にあり、子ども・子育て支援事業計画を踏まえて幼保の連携について検討します。

##### 【今井幼稚園】

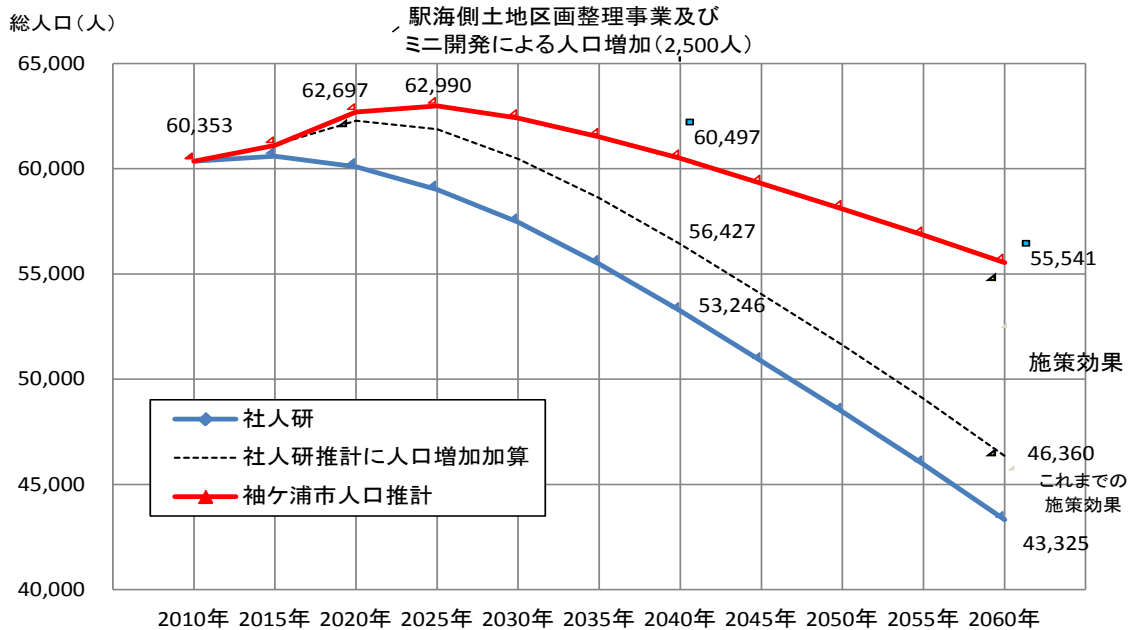
○市立2幼稚園のうち臨海部に位置しバス送迎を実施しています。建築物の状況は、耐震化改修工事が未了であるとともに、建築後の期間経過により老朽化が進行しています。また、袖ヶ浦駅海側地区の人口増加に伴う影響を受ける地区にあり、施設需要の変動も見込まれることから、子ども・子育て支援事業計画を踏まえた施設整備や幼保の連携など施設のあり方について検討します。

### 3 利用者数の状況

#### 1. 本市の人口と就学前児童数の推移

本市では、現在、人口は増加傾向にあります、長期的な推計としては減少傾向にあります。

##### ●袖ヶ浦市まち・ひと・しごと創生総合戦略 袖ヶ浦市人口ビジョン（策定中）



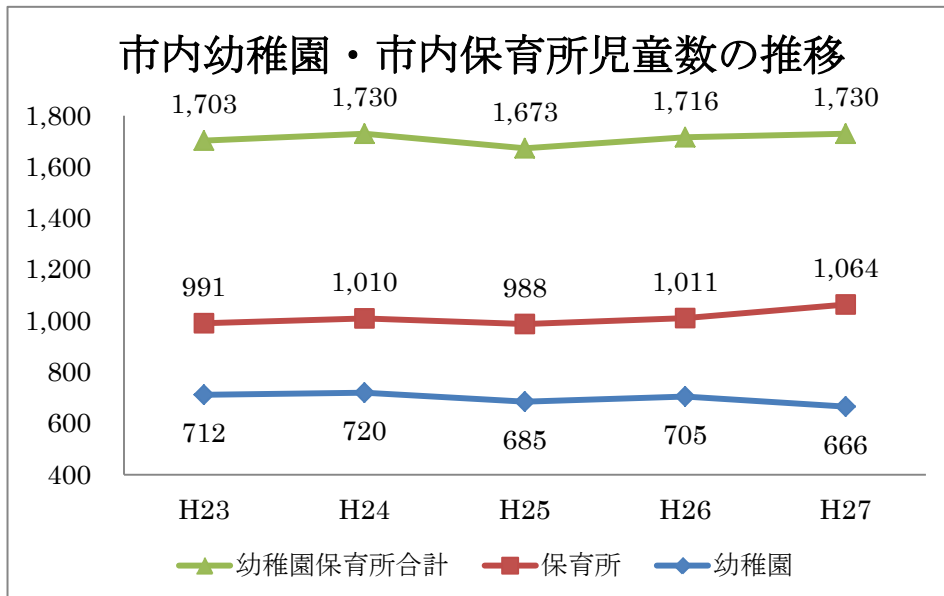
(注)人口増加要因として、2025年までに袖ヶ浦駅海側土地区画整理事業による2,000人の人口増と、ミニ開発による500人の人口増を加算して試算。

(注)国立社会保障人口問題研究所(社人研)の推計人口は、過去における人口の動きから人口動態率や移動率など「変化率」を求め、それに基づき将来人口を推計していますが、宅地開発や各種施設の立地移転などによる新たな人口増加の要素は加味していません。

市内幼稚園園児数は各年5月1日現在

市内保育所園児数は各年度3月1日現在(平成27年度8月1日現在)

(単位:人)



## 2. 市内幼稚園入園者数の推移

保育所の需要が増える一方で幼稚園では児童数が減少傾向にあり、特に中川幼稚園は定員に対する入所率が38%となっています。

少子化の進行、働く女性の増加や就労形態の変化などにより、保護者が幼稚園や保育所に求めるサービスは多様化しています。幼稚園においても3年保育や長時間の預かりなど多様な保育形態が求められており、市立幼稚園では3年保育や一時預かりを行っていないことなどが入所率の低下の一因であると思われます。

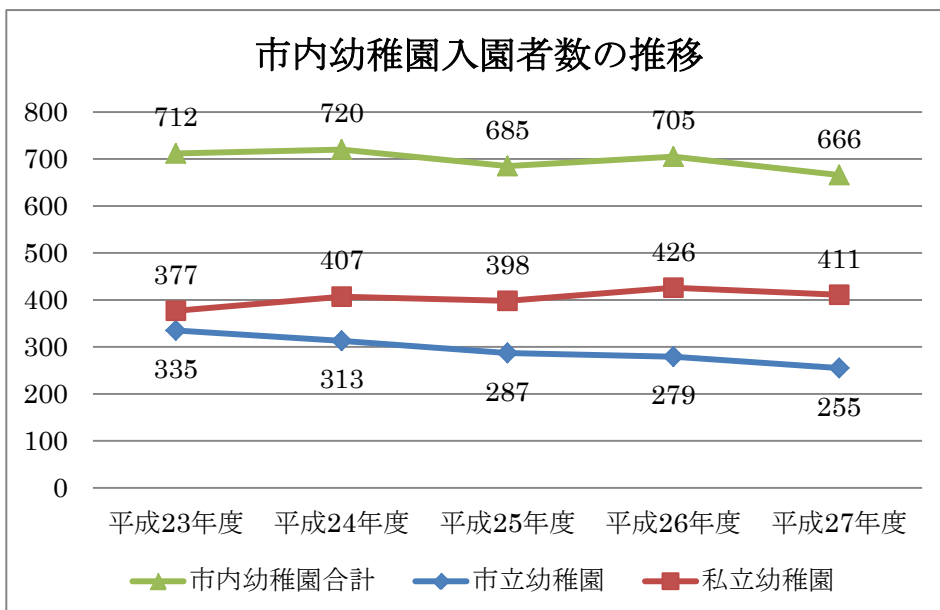
小規模な集団は、子ども一人一人に目が行き届ききめ細やかな指導が可能ですが、小規模化が進みすぎると日常的な集団生活を通じての多様な経験が得にくく、少人数で行う教育・保育への懸念があります。

(各年5月1日現在)

(単位：人、%)

| 地区        | 名称              | 平成25年度 |     |     | 平成26年度 |     |     | 平成27年度 |     |     |
|-----------|-----------------|--------|-----|-----|--------|-----|-----|--------|-----|-----|
|           |                 | 入園     | 定員  | 入所率 | 入園     | 定員  | 入所率 | 入園     | 定員  | 入所率 |
| 昭和        | 市立今井幼稚園         | 194    | 210 | 92% | 188    | 210 | 89% | 175    | 210 | 83% |
| 平川        | 市立中川幼稚園         | 93     | 210 | 44% | 91     | 210 | 43% | 80     | 210 | 38% |
| 合計（市立幼稚園） |                 | 287    | 420 | 68% | 279    | 420 | 66% | 255    | 420 | 60% |
| 長浦        | 私立袖ヶ浦<br>桜ヶ丘幼稚園 | 171    | 200 | 85% | 169    | 200 | 84% | 166    | 200 | 83% |
| 長浦        | 私立蔵波台<br>さつき幼稚園 | 227    | 340 | 66% | 257    | 340 | 75% | 245    | 340 | 72% |
| 合計（私立幼稚園） |                 | 398    | 540 | 73% | 426    | 540 | 78% | 411    | 540 | 76% |
| 市内幼稚園 合計  |                 | 685    | 960 | 71% | 705    | 960 | 73% | 666    | 960 | 69% |

(単位：人)



### 3. 市内保育所入所児童数の推移

#### (1) 市内保育所入所児童数の推移

結婚や出産後も働き続ける女性の数が増えていることなどを背景に、保育所入所児童数は年々増加し続けています。

平成25年度に私立白ゆり保育園の開設、平成27年4月に私立大空保育園の開設や市立根形保育所の定員増などを行ってきましたが、入所待ち児童数はさらに発生し、平成27年8月1日現在定員を超えて児童を受け入れている施設が4施設あります。

市全体としては今後もしばらくは、保育所の入所児童数は増えることが予測されますが、平川地区では人口減少に伴い定員に満たない施設もあります。

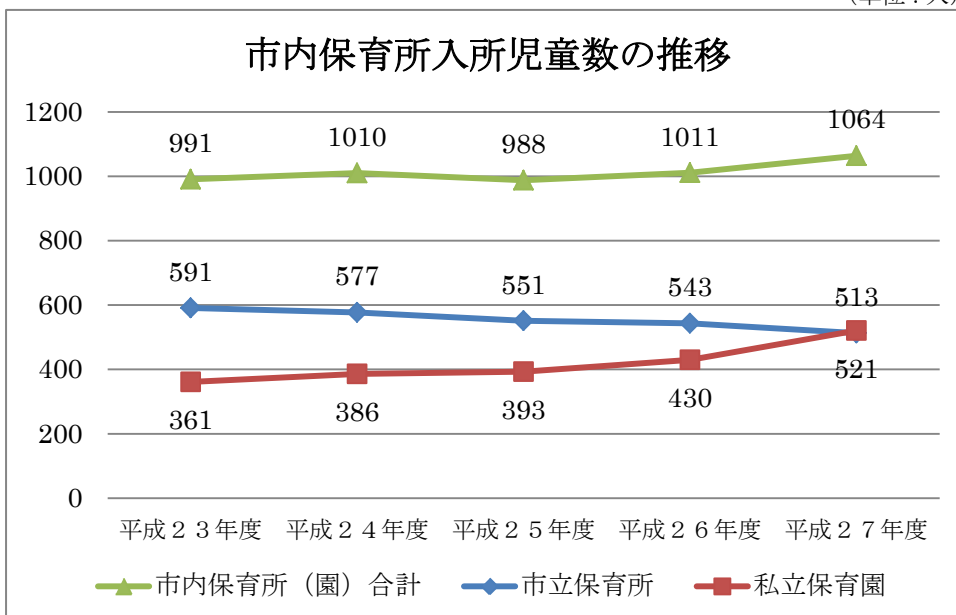
(各年度3月1日現在) (平成27年度8月1日現在)

(単位：人、%)

| 地区         | 名称       | 平成25年度 |     |      | 平成26年度 |     |      | 平成27年度 |      |      |
|------------|----------|--------|-----|------|--------|-----|------|--------|------|------|
|            |          | 入所     | 定員  | 入所率  | 入所     | 定員  | 入所率  | 入所     | 定員   | 入所率  |
| 昭和         | 市立福王台保育所 | 142    | 120 | 118% | 138    | 120 | 115% | 127    | 120  | 106% |
| 長浦         | 市立久保田保育所 | 140    | 120 | 117% | 124    | 120 | 103% | 120    | 120  | 100% |
| 根形         | 市立根形保育所  | 111    | 90  | 123% | 116    | 90  | 129% | 113    | 120  | 94%  |
| 平川         | 市立平川保育所  | 86     | 90  | 96%  | 79     | 90  | 88%  | 74     | 90   | 82%  |
| 平川         | 市立吉野田保育所 | 72     | 90  | 80%  | 86     | 90  | 96%  | 79     | 90   | 88%  |
| 合計(市立保育所)  |          | 551    | 510 | 108% | 543    | 510 | 106% | 513    | 540  | 95%  |
| 昭和         | 私立昭和保育園  | 107    | 90  | 119% | 105    | 90  | 117% | 103    | 90   | 114% |
| 昭和         | 私立大空保育園  |        |     |      |        |     |      | 105    | 120  | 88%  |
| 長浦         | 私立長浦保育園  | 156    | 130 | 120% | 168    | 130 | 129% | 159    | 130  | 122% |
| 長浦         | 私立白ゆり保育園 | 130    | 99  | 131% | 157    | 120 | 131% | 154    | 120  | 128% |
| 合計(私立保育園)  |          | 393    | 319 | 123% | 430    | 340 | 126% | 521    | 460  | 113% |
| 市内保育所(園)合計 |          | 988    | 829 | 119% | 1011   | 850 | 119% | 1064   | 1000 | 106% |

※その他保育施設 家庭的保育(みらいっ子るーむ 定員5)あり

(単位：人)



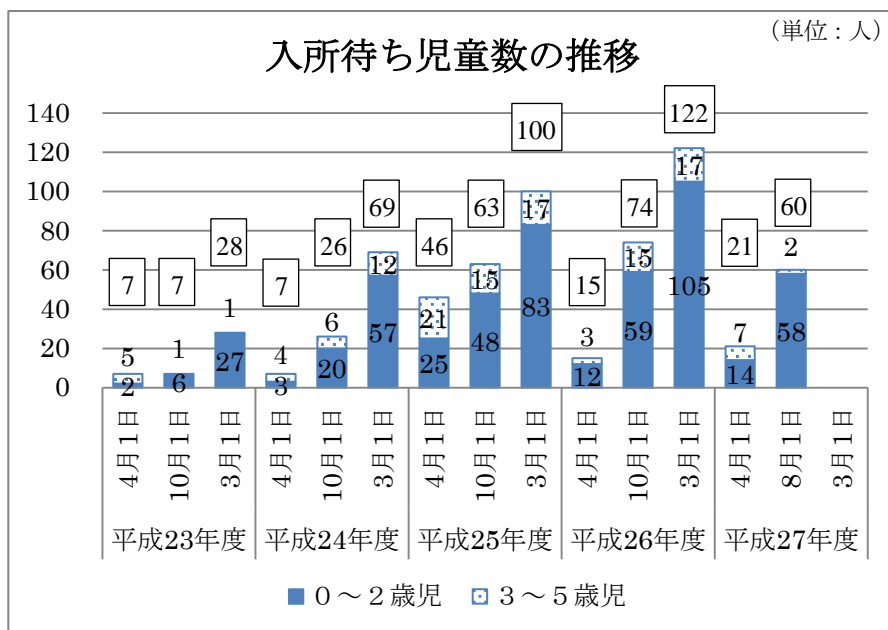
## (2) 保育所入所待ち児童数※1の推移（国基準の待機児童数※2を含む）

保育所入所待ち児童数は年々増加しており、年度後半に向けて増加します。

入所待ち児童は平成27年3月では122名であり、0歳～2歳児が105名と全体の86%を占め、保育の低年齢化が進み、乳幼児の保育需要への受け入れ枠の拡大は急務となっています。

※1 入所待ち児童数：保護者が特定の保育所を希望し、定員の空きを待っている場合の児童数

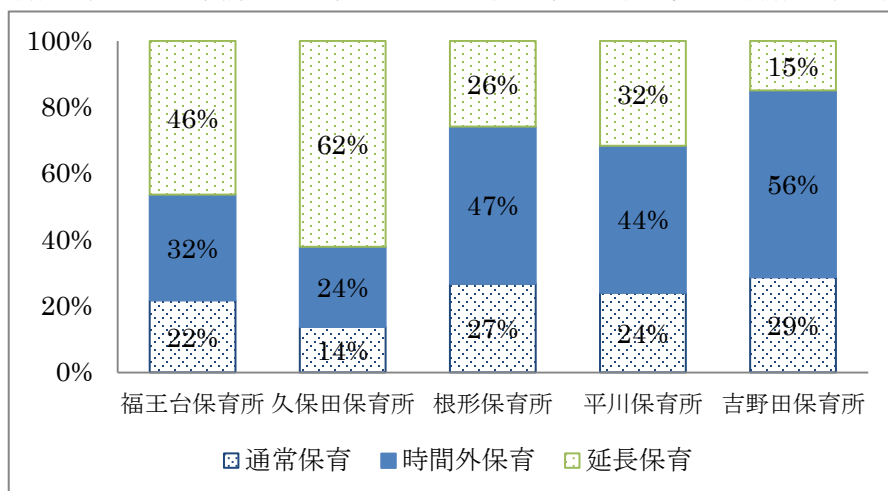
※2 国基準の待機児童数：入所を申し込み入所要件に該当しているが、入所していない児童数



## (3) 多様な保育ニーズへの対応

働く女性の増加や就労形態の変化などにより、保護者が保育所に求めるサービスは多様化し、時間外保育や一時保育などの利用率は増加しています。市街地では保育の長時間化が見られます。

平成26年度公立保育所 通常保育に対する時間外保育等の利用状況（平成27年3月）



時間外保育：午前7時30分～8時30分・午後4時30分～6時

延長保育：午後6時～午後7時

## 4 施設の状況

### 1. 施設の状況

市内の教育・保育施設のうち市立施設は、幼稚園が2箇所、保育所が5箇所あり、多くが建築後40年程度であり、現行の耐震基準が設定された昭和56年度以前に建築されています。

耐震工事については、今井幼稚園と吉野田保育所の2施設で必要とされており、第2期実施計画の中で実施設計を行うこととしていましたが、幼保連携と合わせて検討を行うため、計画を見直しています。

#### ●市立施設の状況

(平成27年4月1日現在)

| 施設名    | 敷地面積     | 建物        |             |    | 整備年                         | 経過年数 | 改修後年 | 耐震診断 | 耐震補強 | 耐震工事 |
|--------|----------|-----------|-------------|----|-----------------------------|------|------|------|------|------|
|        |          | 構造<br>(㎡) | 対象面積<br>(㎡) | 階数 |                             |      |      |      |      |      |
| 今井幼稚園  | 4,213.00 | S         | 984         | 1階 | S55.2                       | 35   | -    | 済    | 未    | 未    |
| 中川幼稚園  | 5,216.00 | S         | 984         | 1階 | S53.3                       | 37   | 9    | 済    | 済    | 済    |
|        |          |           |             |    | 平成17～18年度大規模改修 耐震補強工事       |      |      |      |      |      |
| 福王台保育所 | 4,058.56 | 木造        | 988         | 1階 | S51.3                       | 39   | 4    | 済    | 済    | 済    |
|        |          |           |             |    | 平成22～23年度大規模改修 耐震補強工事       |      |      |      |      |      |
| 久保田保育所 | 6,131.31 | 木造        | 997         | 1階 | S52.3                       | 38   | 6    | 済    | 済    | 済    |
|        |          |           |             |    | 平成21年3月大規模改修                |      |      |      |      |      |
| 根形保育所  | 4,137.00 | S         | 1,145       | 1階 | S58.3                       | 32   | 10   | -    | -    | -    |
|        |          |           |             |    | 平成20年3月内装、塗装、設備改修、平成22年屋根塗装 |      |      |      |      |      |
| 平川保育所  | 3,186.40 | RC        | 951         | 1階 | H6.3                        | 21   | -    | -    | -    | -    |
| 吉野田保育所 | 7,669.00 | 木造        | 943         | 1階 | S51.3                       | 39   | -    | 未    | 未    | 未    |

※S・・・鉄骨造 RC・・・鉄筋コンクリート造

### 2. 施設に要する運営費

幼稚園も保育所も公立と私立施設があり、保育所に関しては官民を問わず保育料は同額であり、保育所に通う児童の半数以上が民間保育所に通っています。幼稚園については、私立幼稚園就園奨励費制度により所得が低いほど官民を問わず実質的な保育料は同等であり、所得が高いほど民間の方が実質的な保育料は高くなっていますが、幼稚園に通う児童の6割以上が民間幼稚園に通っています。

現行の国の制度では、市立保育所及び市立幼稚園については、国県からの運営補助がありません。限られた市の財源を有効に活用し、保護者のニーズへの対応や保育の受入れ施設の拡大を図るために、国県からの運営補助が受けられる民間施設により保育全体の定員を増やしていくことを検討します。

袖ヶ浦市公共施設白書での「施設に要する経費」の算出方法によると、利用児童数が少ないほど一人あたりコストは高く、利用児童数の少ない施設が増えると市の負担も割高になることから、施設管理・運営の効率化の観点からも、適正な規模を確保する必要があります。



## 5 認定こども園の推進について

### 1. 認定こども園の推進について

保育の低年齢化・長時間化などの多様な保育ニーズ、入所待ち児童の増加など子育てを取り巻く環境の変化に対応し、子どもたちにとって望ましい就学前の教育・保育の総合的な提供や幼稚園・保育所の連携について、教育・保育内容、施設、職員等の面から検討し、認定こども園による幼保連携を推進します。

なお、幼稚園・保育所の具体的な幼保連携案については、「袖ヶ浦市公共施設（建築物）の再編整備計画」との整合を図ります。

#### (1) 認定こども園とは

認定こども園は、保護者が働いている、いないにかかわらず就学前の子どもを受け入れて、教育・保育を一体的に行う機能や、すべての子育て家庭を対象に、子育て不安に対応した相談活動や親子の集いの場の提供などを行う機能を備えた施設です。

● 保育時間等

|  | 7:30 | 8:30 | 9:30 | 14:30 | 16:30 | 18:30 | 19:00 |
|--|------|------|------|-------|-------|-------|-------|
| <b>幼稚園</b><br>3～5歳児<br>4時間を標準  |      |      | 保育   |       |       |       |       |
| <b>保育所</b><br>0～5歳児<br>8時間保育<br>11時間保育                                 |      | 延長保育 | 保育   |       |       | 延長保育  |       |
| <b>認定こども園</b><br>3～5歳児<br>学校教育のみ(1号)<br>保育の必要性有(2号)<br>8時間保育<br>11時間保育 |      |      | 教育時間 |       |       |       |       |
|  |      | 延長保育 | 保育   | 教育時間  | 保育    | 延長保育  |       |
|  |      | 保育   | 教育時間 |       | 保育    |       | 延長保育  |
| 0～2歳児<br>保育の必要性有(3号)<br>8時間保育<br>11時間保育                                |      | 延長保育 | 保育   |       |       | 延長保育  |       |
|  |      | 延長保育 | 保育   |       |       | 延長保育  |       |

#### (2) 認定こども園制度創設の背景

- ・ 共働き世帯の増加など、保護者の就労形態が変化しているが、親の就労の有無で利用施設が限定される
- ・ 少子化の進む中、幼稚園・保育所が別々では、子どもの育ちにとって大切な子ども集団が小規模化、運営も非効率
- ・ 都市部を中心に保育所に入れない待機児童が存在
- ・ 保育所待機児童が存在する一方、幼稚園の利用児童は減少傾向
- ・ 親の働く状況の違いにかかわらず、質の高い幼児教育・保育を受けられることが望まれている
- ・ 育児不安の大きい専業主婦家庭への支援が不足

#### (3) 認定こども園・幼稚園・保育所の状況

【内閣府 子ども・若者白書】【学校基本調査】【社会福祉施設等調査】

| 年度      | 全国     |     |       |        |        | 千葉県    |    |    |     |     |
|---------|--------|-----|-------|--------|--------|--------|----|----|-----|-----|
|         | 認定こども園 |     |       | 幼稚園    | 保育所    | 認定こども園 |    |    | 幼稚園 | 保育所 |
|         | 合計     | 公立  | 私立    |        |        | 合計     | 公立 | 私立 |     |     |
| 平成 23 年 | 762    | 149 | 613   | 13,299 | 21,751 | 19     | 7  | 12 | 579 | 476 |
| 平成 24 年 | 909    | 181 | 728   | 13,170 | 23,740 | 22     | 8  | 14 | 572 | 563 |
| 平成 25 年 | 1,099  | 220 | 879   | 13,043 | 24,076 | 26     | 12 | 14 | 569 | 574 |
| 平成 26 年 | 1,360  | 252 | 1,108 | 12,905 | 未発表    | 28     | 13 | 15 | 563 | 未発表 |
| 平成 27 年 | 2,836  | 554 | 2,282 | 11,676 | 未発表    | 49     | 24 | 25 | 541 | 未発表 |

## 2. 幼保連携型認定こども園のメリット

### (1) 教育及び保育の総合的な提供

- ・現在、親の就労状況等で子どもの預け入れ先が分かれています。認定こども園は、親の就労の有無に関わらず施設利用が可能であり、その後、親の就労状況が変化しても継続して施設の利用が可能となることから、子どもが健やかに育つための大切な乳幼児期において、一貫した保育・教育が行えます。
- ・親の就労の関係で保育所に入所する児童であっても、認定こども園では幼稚園と同じ教育が受けられることから、小学校以降の生活や学習の基盤の育成につながる幼児教育の機会の提供の拡大を図れ、すべての子どもに質の高い幼児期の学校教育と保育の提供が行えます。
- ・認定こども園の幼児教育では、長期休暇中の対応、給食の提供や一時預かりの機会の提供など総合的なサービスの提供が容易になります。

### (2) 子育て支援施設の設置（認定こども園に必置）

- ・すべての子育て家庭を対象に、子育て不安に対応した相談活動や、親子の集いの場の提供など、地域における子育てを支援する機能を持ちます。

### (3) 待機児童（入所待ち児童）の解消

- ・幼稚園を認定こども園化した場合、未利用教室や園児退園後の教室を活用し、待機児童（入所待ち児童）の解消が図れます。また、幼稚園の需要の減少への対応が図れます。

### (4) 定員設定

- ・認可定員※1 の上限の範囲内であれば、利用定員※2 を超える柔軟な受け入れが可能であり、待機児童の解消が図れます。
- ・教育・保育の需要の変化に対して、同施設の中で1号認定※3・2号認定※4 定員の変更が可能であり、将来にわたってニーズの変化に対応でき効率的な施設運用が図れます。
- ・保護者の就労状況が変化し、1号認定から2号認定に、また2号認定から1号認定に変更になった場合、利用定員に空きがなくても、一定の範囲内であれば一時的な定員超過を認め、認定こども園の継続利用は可能です。

※1 認可定員：施設全体の定員

※2 利用定員：認定区分ごとの定員

※3 1号認定：満3歳以上の学校教育のみ（保育の必要性なし）の就学前子ども

※4 2号認定：満3歳以上の保育の必要性の認定を受けた就学前子ども

※5 3号認定：満3歳未満の保育の必要性の認定を受けた就学前子ども

## 小規模保育事業について

### 1. 運営保育園

名 称 (仮称) みどりの風保育園

規 模 小規模保育 A 型 (対象年齢 0 歳～ 3 歳未満)

利用定員 19 名 (定員構成 0 歳児 5 人 1 歳児 7 人 2 歳児 7 人)

開所時間 平日：午前 7 時～午後 8 時 土曜日：午前 7 時～午後 6 時

平成 28 年 1 月に開設予定

(予定している自主事業) 一時預り事業、園庭開放

### 2. 運営法人 社会福祉法人 みどりの風

代表者 理事長 武井 千尋

所在地 袖ヶ浦市下泉 1 4 2 4 番 3

### 3. 保育園建設予定地 別図参照

袖ヶ浦市蔵波 3 1 0 8-1 8 敷地面積 2, 4 1 8 m<sup>2</sup>

### 4. 保育方針

それぞれの発達段階に適した、豊かな環境の中で、子ども自身の力を発見し、子どもが持つ自発性、自主性を大切にして、自ら生きようとする力を育てます。そして地域社会と連携し、ぬくもりいっぱい、子どもの健康と安全に配慮しながら保育します。